



SPRING INFRASTRUCTURE CAPITAL

報道各位



住友商事



2019年2月14日

スプリング・インフラストラクチャー・キャピタル株式会社
住友商事株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社日本政策投資銀行

再生可能エネルギーファンドの設立について

～1号ファンドは日本初の海外洋上風力発電事業投資ファンド～

住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭 誠之、以下「住友商事」）、株式会社三井住友銀行（本社：東京都千代田区、頭取 CEO：高島 誠、以下「SMBC」）および株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：渡辺 一、以下「DBJ」）は、共同で出資するファンド運営会社であるスプリング・インフラストラクチャー・キャピタル株式会社（以下「本事業会社」）を通じて、1号ファンド（以下「本ファンド」）を設立しました。

本ファンドは、国内投資家から資金を集め、海外の洋上風力発電事業に投融資するファンドです。住友商事が保有する英国の資産をシードアセット（注1）として組み入れる予定で、日本初の海外洋上風力発電事業投資ファンドとなります。ファンド総額は最大 300 億円を目指します。

本事業会社は、機関投資家に対する国内外の再生可能エネルギー発電資産への投資機会の提供を目的として、2018年7月に設立されました。再生可能エネルギー分野への投融資の経験・知見を有するメンバーが本事業会社に派遣され、投資先のインフラ事業の運営に参画し、地域社会に価値を提供することを通じて投資家の皆さまの期待に応えることを目指します。また、再生可能エネルギーを中心にインフラ事業へ資金を還流する仕組みを構築することで、国内の資金ニーズに応えると共に、世界のインフラストラクチャーの整備に貢献します。

住友商事は、世界各地で再生可能エネルギー発電の事業開発・運営を積極的に展開しており、持分発電容量は 1.4 ギガワットに達しております。開発・建設を終え、安定操業段階に入っている資産を本ファンドへ一部売却することにより、戦略的な資産入替を実現し、今後さらなる優良インフラ案件の発掘・開発に注力します。

SMBC はプロジェクトファイナンスの取り組みにおいて、再生可能エネルギーに対してグローバルで 3 兆円以上の融資実績を有しております。また、洋上風力発電へのファイナンスについても、トッププレイヤーの一角として、合計 10 ギガワット以上の発電所に融資を行っております。本件の取組を通じ、SMBC グループがこれまでに培った知見・ノウハウの提供を行い、円滑なファンド運営に貢献してまいります。

DBJ は、英国洋上風力事業についての知見や投資実績等を活かしつつ本事業会社に参画しております。また、本ファンドが、国内機関投資家に対する洋上風力発電等の再生可能エネルギー事業への投資機会の提供に資するとともに、住友商事による国内外での再生可能エネルギー事業展開の加速を支援することにより同社の競争力強化にも寄与することから、「特定投資業務」を活用した資金供給を行うこととしました。

（注1）シードアセット：

ファンドの投資対象資産。本ファンドにおいては、レースバンク洋上風力発電事業とギャロパー洋上風力発電事業を想定しています。

<参考資料>

本事業会社の概要

商号	スプリング・インフラストラクチャー・キャピタル株式会社	
所在地	東京都千代田区大手町一丁目5番1号 大手町ファーストスクエアアイーストタワー4F	
代表者	代表取締役社長 坂井 洋一	
事業内容	投資業務等	
資本金	2億5千万円	
設立日	平成30年7月31日	
株主	住友商事株式会社	51%
	株式会社三井住友銀行	24.5%
	株式会社日本政策投資銀行	24.5%

本ファンドの概要(予定)

ファンド総額	円貨で最大300億円程度(予定)
ジェネラルパートナー	スプリング・インフラストラクチャー・キャピタル株式会社
リミテッドパートナー	住友商事株式会社 株式会社三井住友銀行 株式会社日本政策投資銀行 その他

ファンドスキーム図

